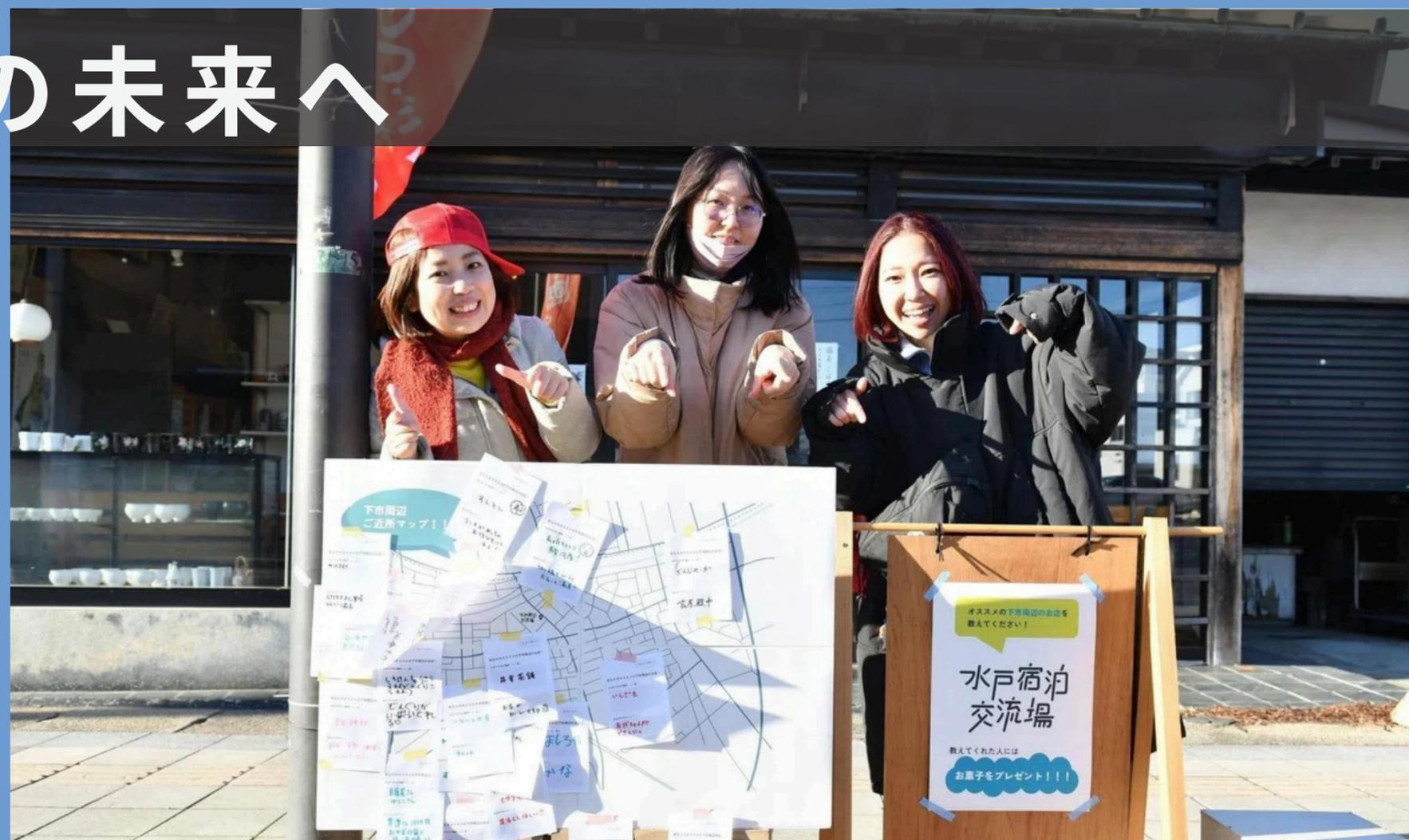


しもいち実証実験スクール

市民の営みから形成される
景観を401年以降の未来へ



さととし

まちびらき400年の歴史を持つ下市エリアを 401年以降の次世代に継承するため

文化・景観を守り育てながら、
居心地が良く、暮らしやすく、訪れたいくなる
まちづくりのアクションを提案します

▼ 自己紹介

さととし

水戸市にある水戸宿泊交流場と、都内にある渋谷キューズを拠点とした、
2拠点居住者やフルリモートUターンメンバーによる特性を活かした課題解決を行う団体です。



中村彩乃 水戸出身

建築家・まちづくり
東京と水戸の2拠点生活
水戸でゲストハウス



川島飛鳥 ひたちなか出身

広報・地域プロジェクト推進
東京の会社勤務、茨城在住
フルリモートワーク

水戸宿泊
交流場



地元と都市部の内と外の両方の視点と活動の場を持ち、
課題や魅力に新しい価値を生み出す地域課題解決を得意とする

活動

「やってみたい気持ち」から構想し
2021年に空き家を改修したゲストハウス

水戸宿泊交流場を下市エリアではじめました

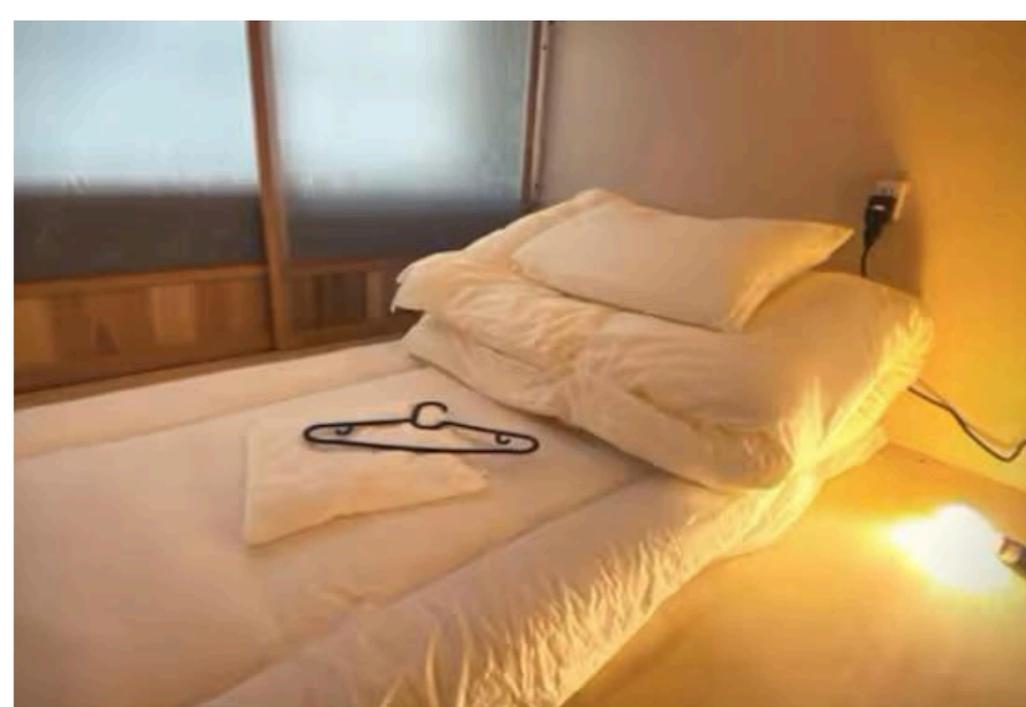
水戸宿泊
交流場

みとしゆくはくこうりゅうば

その地域に“暮らす人”とそこに“訪れる人”が
交流することであたらしい〇〇が生まれる
きっかけのゲストハウス

▼ 元魚網店の場所

さととし



▼ 下市タウンフェスに参加

まちのことを優しく教えてくださる皆さんに感謝です



▼ まちの特徴

2025年は下市まち開き400年の節目の年

1625年に水戸城東側の低湿地地帯を埋め立てて城下の商人を移した「田町越え」が行われました



備前堀
老舗

都市景観重点地区に指定

2002年に本市の第1号として、『備前堀沿道地区』を優れた都市景観づくりを行う地区として指定

市と私たちの考える「景観まちづくり」

その土地の歴史や文化、日常生活の **積み重ね** によって形成された
雰囲気や価値 を指すものという捉え方

建物や自然だけでなく、人々の暮らしや活動、祭りなども含むもの



▼ 浜田地区意見交換会（景観まちづくりのヒント） さととし

都市景観重点地区に指定から23年、少子高齢化や空き家の増加が進むなど、地域の状況が変化していることから、地域住民のみなさまと景観まちづくりのあり方を考えるため市が開催した意見交換に参加



地域のまちづくり関係者や住民等が同じテーブルで横に並んで話し合う風景。

職員も話し合いをサポート。



多様な世代が備前堀周辺の魅力や課題について熱心に議論。



最後に、テーマごとに、話し合いで出た意見や提案を大学生が発表。



終了後に参加者全員で集合写真。若い世代からご高齢の方まで様々な世代が集まりました。

Q備前堀周辺が、どのようなまちになると良いと思いますか？

- 空き家を活用したお店や、人が外にいる気配が生まれていくと良いと思う。
- 住んでいる人も外から来た人もまじり合うようなあたたかい場所。
- まちに若い人が入ると良いと思う。
- まちの歴史や地域を知るような催しがあっても良いと思う。
- 備前堀とハミングロードがタイアップした歴史と文化遺産の住み良いまち（400年の歴史）
- 城下町らしい歴史を感じられるまちづくりを希望する。

空き家・人・コト・歴史

しもいち実証実験スクール

初年度は空き家が舞台

まちの風景に新たな息吹を！



さととし

▼ しもいち実証実験スクールの目的

城下の商人がやってきて発展していったしもいちエリア。
歴史と景観が育まれてきたこの場所で、

やってみたいをやってみる人を増やす！

1日カフェを
やってみたい

本屋さんを
やってみたい



子供の遊び場
を作ってみたい

デザインした服を
販売してみたい

地域で挑戦したいアイデアを持つ人
ヒト・コトの増加

しもいち実証実験スクールの概要

「やってみる」の学びと実践の場

建築・まちづくり・広報の視点でやってみるを伴走サポート

1

「やってみたい」
人を募集

地域で挑戦したいアイデアを持つ市民や外の人を対象に募集を行います。

4月



2

歴史や景観の
学びと視察

下市エリアにまつわる歴史や建物の講話、地域資源を活かしている事例の視察を実施します。

6月



3

アイデアの
検証と計画

参加者とともに、歴史や景観を守りながら空間を活用する方法を具体化します。

7月



4

「やってみる」
の実施

「空き家」を活用し、イベントや1日お店を出してみるなどの実験的プロジェクトを展開します。

11月



5

振り返りと
401年以降の展望

スクールを通して学んだことや実施をした結果を振り返り、401年以降の展望を検討します。

12月



水戸市都市計画課との協働

▼ やってみるの実践の日イメージ



1日カフェを
やってみたい

本屋さんを
やってみたい



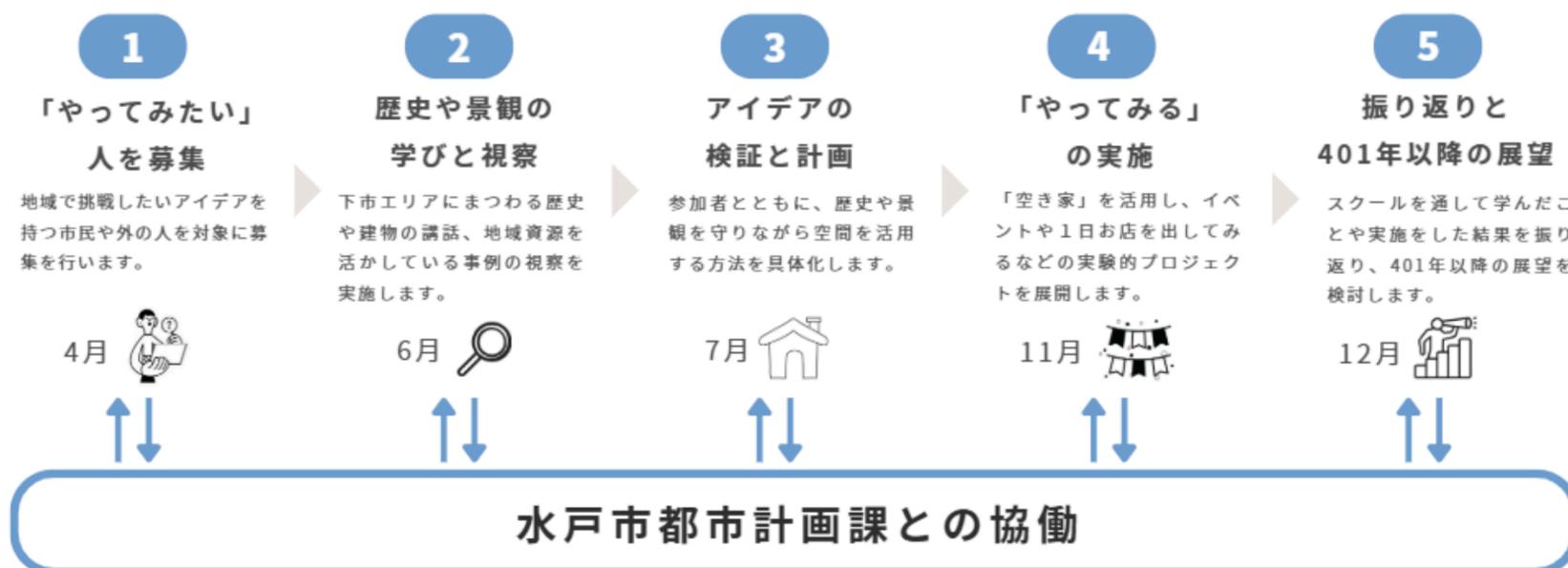
地域で挑戦したいアイデアを持つ人

キッズスペース
を作ってみたい

デザインした服を
販売してみたい

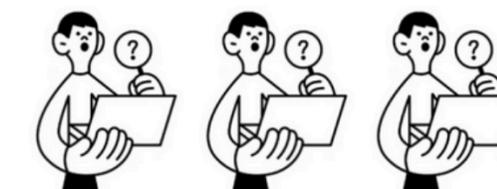
▼ 協働のメリット

行政が有する情報資源やネットワークを最大限に活用することで
事業の実効性が高まる



1日カフェをやってみよう

本屋さんをやってみよう

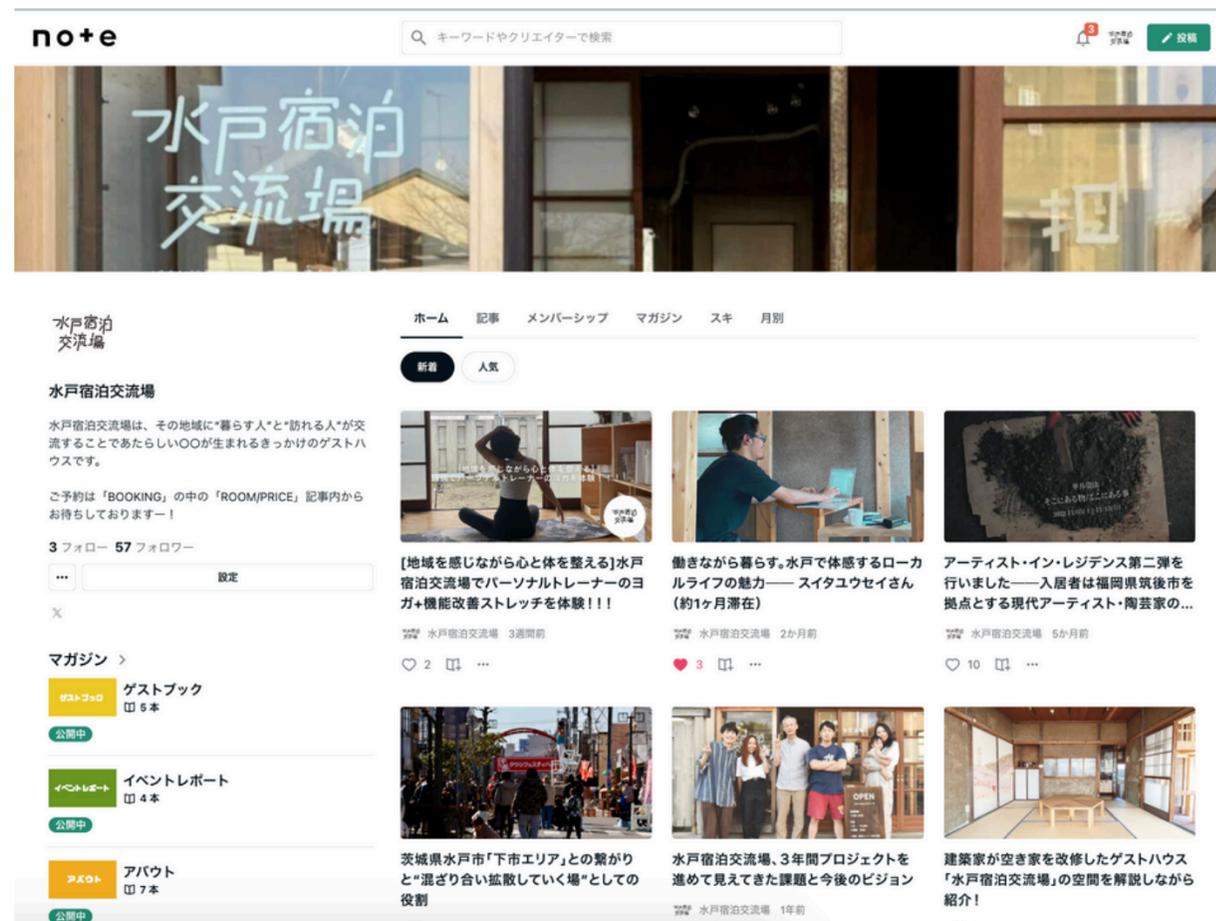


地域で挑戦したいアイデアを持つ人

キッズスペースを作ってみよう

デザインした服を販売してみよう

収支計画



補助金	500,000
イベント参加費	30,000
受講費	30,000
収入合計 (A)	560,000

チラシ制作費	80,000
広報物制作費	80,000
撮影費	50,000
イベントケータリング費	80,000
イベント制作物費	100,000
記事制作費	80,000
会議室使用料	60,000
講師謝礼	30,000
支出合計 (B)	560,000

収入はイベントとスクールの参加費と補助金から。
支出はイベント告知・実施アーカイブに使用します。

▼ しもいち実証実験スクールを通じての展望 さととし

景観が息づくまちで人と地域・歴史との関わりしるが増えることで
新たな価値が生まれ続け

居心地が良く・暮らしやすく・訪れたいくなる401年以降のまちへ

増

やってみたい人
やってみた人



- 継続的にやってみる
- 地域と関わりしることができる
- 空き家を活用したい人が増える
- やってみたい人が増える

増

コト・場



- 新しいコトが増える
- 訪れる人が増える
- 関わりたい人が増える

増

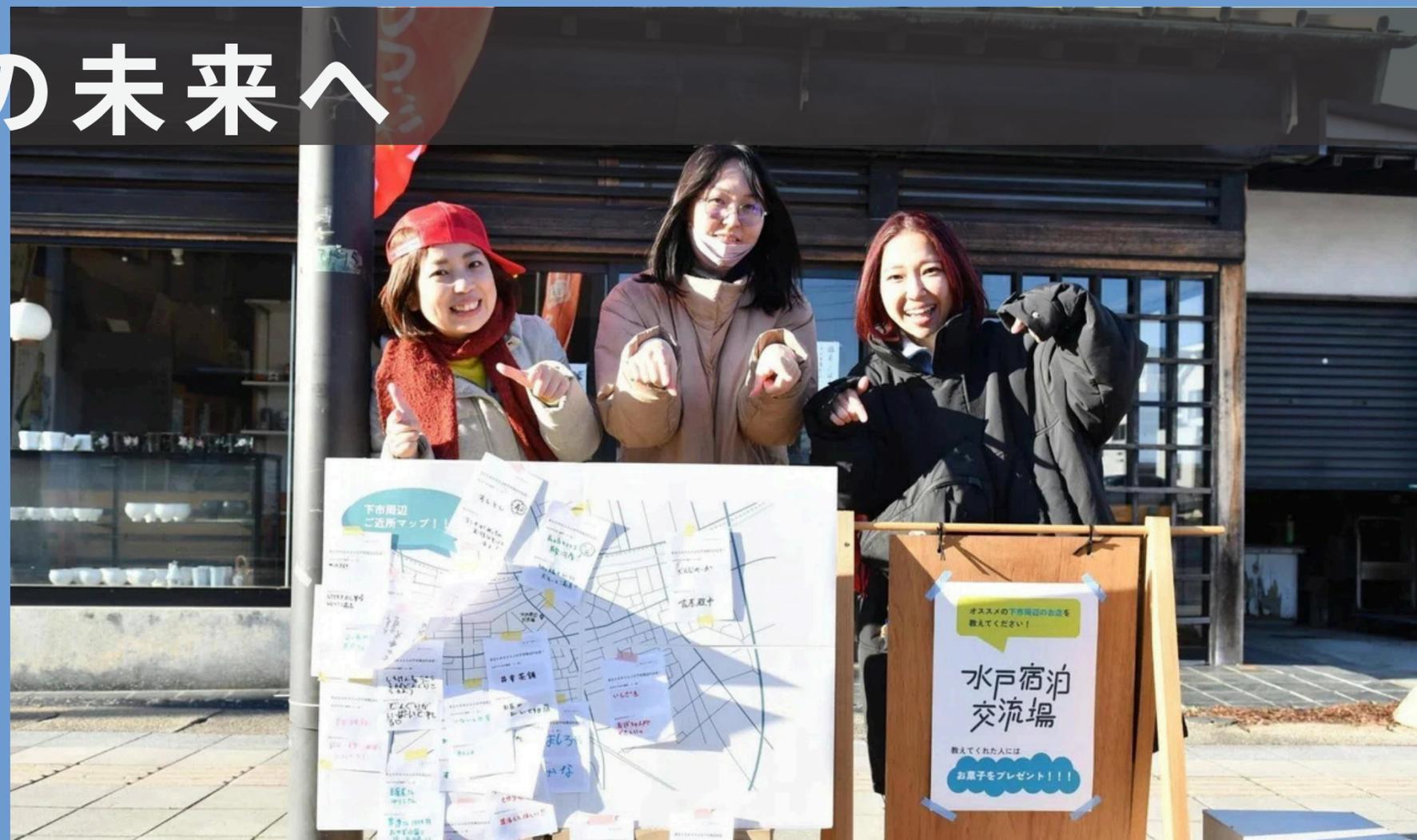
暮らす人
訪れる人



- 老若男女日常がたのしくなる
- 行ってみたいと思う人が増える
- 子育てしたいと思う人が増える

しもいち実証実験スクール

市民の営みから形成される
景観を401年以降の未来へ



さととし